

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【公表番号】特表2010-508907(P2010-508907A)

【公表日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2009-535383(P2009-535383)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

H 0 1 M 8/00 (2006.01)

H 0 1 M 8/04 (2006.01)

H 0 1 M 8/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 1 0

H 0 1 M 8/00 Z

H 0 1 M 8/04 P

H 0 1 M 8/04 L

H 0 1 M 8/10

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月30日(2012.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象を撮像するための装置であって、

撮像システムと、

前記撮像システムに電力を供給する少なくとも 1 つの燃料電池と、

前記少なくとも 1 つの燃料電池と動作可能に結合した排出物リセブタクルと、

前記少なくとも 1 つの燃料電池と動作可能に結合した燃料タンクと、

前記撮像システムと動作可能に結合しておりかつ壁面電気アウトレットと動作可能に結合したパワーモジュールと、

制御ラインを介して前記パワーモジュールと動作可能に結合したパワー管理システムと、

パワーラインを介して前記少なくとも 1 つの燃料電池と直接結合した高電圧インバータと

、

を備え、

前記パワーモジュールが、前記少なくとも 1 つの燃料電池を含んでいない、

装置。

【請求項 2】

前記高電圧インバータと動作可能に結合した X 線源を備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

さらに、前記少なくとも 1 つの燃料電池を前記撮像システムの内部に包含させて備える請求項 1 または 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記撮像システムは可搬式撮像システムを含む、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の装置

。

【請求項 5】

前記撮像システムは可搬式ヘルスケア X 線撮像システムを含む、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

パワー管理システムと、

前記パワー管理システムと制御ラインを介して動作可能に結合された少なくとも 1 つの燃料電池と、

前記少なくとも 1 つの燃料電池と動作可能に結合した排出物リセブタクルと、

前記少なくとも 1 つの燃料電池と動作可能に結合した燃料タンクと、

前記少なくとも 1 つの燃料電池とパワーラインを介して動作可能に結合されかつ前記パワー管理システムと制御ラインを介して動作可能に結合された高電圧インバータと、

前記高電圧インバータとパワーラインを介して動作可能に結合された X 線源と、

前記高電圧インバータと動作可能に結合しておりかつ壁面電気アウトレットと動作可能に結合したパワーモジュールと、

を備え、

前記制御ラインは前記少なくとも 1 つの燃料電池が電力を供給させ、

前記パワーモジュールが、前記少なくとも 1 つの燃料電池を含んでいない、

可搬式 X 線撮像システム。

【請求項 7】

前記燃料電池はさらに、約 5 kW の電気パワーを発生させるように動作可能な燃料電池を含む、請求項 6 に記載の可搬式 X 線撮像システム。

【請求項 8】

前記可搬式 X 線撮像システムは可搬式ヘルスケア X 線撮像システムを含む、請求項 6 又は 7 に記載の可搬式 X 線撮像システム。

【請求項 9】

可搬式ヘルスケア撮像システムのパワーを制御するための方法であって、

少なくとも 1 つのパワーモジュールから高電圧インバータへのパワーを少なくとも 1 つの制御ラインを介して制御する工程と、

燃料電池から高電圧インバータへのパワーを少なくとも 1 つの制御ラインを介して制御する工程と、

を含み、

前記パワーモジュールが、前記少なくとも 1 つの燃料電池を含んでいない、

方法。

【請求項 10】

前記燃料電池はさらに、約 5 kW の電気パワーを発生させるように動作可能な燃料電池を含み、

前記制御工程はプロセッサ上の実行可能命令によって実行される、請求項 9 に記載の方法。